



# 堀船中だより

心身ともに健康にして、国際的視野に立って社会に貢献し、自立した人を育成する。

教育目標

自ら学び 自ら考え 自ら行動できる生徒

## 〈堀船中ファミリー研修会 研究授業を行いました〉

6月30日、堀船中サブファミリー研修会の一貫として、本校で研究授業を行いました。同じファミリー校の堀船小学校・滝野川第五小学校の校長先生をはじめ、先生方が集まって授業研究を行いました。

今年度の研修のテーマは、「児童・生徒のよりよい人間関係を基盤とした授業づくり」です。研究授業は、1年1組・総合「まわし読み新聞を完成させよう」、2年1組・道徳「命のつながりと感謝」、3年1組・学級活動「友達から見た自分を知り、自分自身について考える」でした。講師には、ピア&セルフカウンセリング研究所代表の山下則子先生をお招きし、講評・ご講演をいただきました。ファミリー研修会で学んだことを、小中一貫した9年間の学びとして捉えて、小学校と中学校の連携をさらに深めてまいります。



## 〈道徳授業地区公開講座を行いました〉

7月3日の土曜授業日に道徳授業地区公開講座を行いました。今回の道徳は、内容項目「生命の尊さ」をテーマに全学級で授業を行いました。それぞれの内容は、3組「電池が切れるまで」「かけがえのない生命を大切にしていこう」、1年生「生命の尊さ」「捨てられた悲しみ」、2年生「命が生まれるそのときに」、3年生「命の選択」でした。

講師に、前帝京科学大学 特命教授 川上 彰久先生をお招きして、意見交換会を行いました。なお、「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」発令を受け、公開は保護者のみを対象として、別室から動画で授業の様子をご覧くださいました。今後とも、道徳科の授業の質を高めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった道徳教育を推進していきます。



## 〈緊急事態宣言に伴い学校行事を変更しました〉

12日より、東京都では4回目の緊急事態宣言が発令されました。不要不急の外出を避けるなど、みなさんには夏休み中もさらに制限や自粛をお願いすることになってしまいますが、どうか健康と安全に十分気をつけてお過ごしください。9月1日、元気な姿でお会いできることを楽しみにしています。

行 事	内 容
部活動	○土日は活動停止 ○平日は1時間30分～2時間の活動 ○私設の大会への参加、対外試合、練習試合等は中止 ※中体連が主催する大会については、本人、保護者の同意のうえ、参加は可能。
夏休み水泳指導	実施しない。
岩井臨海学園(1年)	中止
三者面談	感染症対策を徹底しながら、予定通り実施
北区オンライン進路フェア2021	中止

## 〈夏休み中 図書室を開室します〉

7月21日～8月31日(土日・祭日・閉庁日を除く)の期間で、生徒のみなさんに学習利用のために図書室を開室します。開室時間は、9時～16時です。本の貸し出しもおこないます。ぜひ活用してください。

## 渋沢栄一が関わった会社（1）

### ～金融～

#### 【銀行】

##### ◎第一国立銀行（現・みずほ銀行）

栄一は、大蔵省の役人時代から合本主義を貫き、民も官もなく富が世に流通するために、まずは銀行の仕組みをつくらなければならないと考えていました。大蔵省を辞めて間もない1873（明治6）年、日本に初めて民間の資本からなる銀行を現在の日本橋兜町につくりました。正式名称は「第一国立銀行」です。ちなみに、BANKを日本語訳する際に「銀行」としたのも栄一です。第一国立銀行の資本金は、250万円を予定していました。このうち200万円（2万株）は三井組と小野組が引き受けました。栄一は、「総監役」（後の頭取）として活躍し、創業わずか6年間の間に153もの国立銀行が日本各地に設立されました。

その後第一国立銀行は合併を繰り返し、現在ではみずほ銀行の名前でメガバンクの一躍を担っています。

なお、「第一国立銀行」という名前には「一」という数字がついています。これは設立された順番であり、行名に数字のついた銀行は今でも残っています。

- ・第四（だいし）銀行（新潟県）
- ・十六銀行（岐阜県）
- ・十八銀行（長崎県）
- ・七十七（しちじゅうしち）銀行（宮城県）
- ・百五銀行（三重県）
- ・百十四銀行（香川県）



第一国立銀行 【渋沢史料館所蔵】



みずほ銀行兜町支店【提供みずほ銀行】

#### 【損害保険】

##### ◎東京海上保険会社（現・東京海上日動火災保険）

海運業の発展は、同時に運搬中の事故のリスクも増大させました。そこで栄一は、運搬上の危険性を損害保険によって回避させる必要があると考えました。

1879（明治12）年に東京海上保険会社（現在の東京海上日動火災保険）が設立されました。相談役には栄一と岩崎弥太郎、株主には、華族や三菱関係者、貿易・海運業者、安田善次郎や大倉喜八郎といった財界人200人が名を連ね、組織や業務の根本の規則も本格的で、株式会社の見本のような内容でした。創業当時から保険業が盛んな海外に向けて、香港、上海、ロンドン、パリ、ニューヨークに積極的に進出しました。1894

（明治27）年に経営危機に陥りますが、同年、栄一は取締役就任して経営再建に努めました。そして現在に至るまで日本を代表する損保会社となりました。

なお、東京海上日動の本社ビルは、千代田区丸の内一丁目皇居の和田蔵門の目の前にあります。



東京海上保険会社創業当時【提供東京海上日動】

